



浄土真宗 東本願寺派 本山 東本願寺
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

御真影御奉安

奉讃の御案内

親鸞聖人の末娘であられる覚信尼公が京都・東山大谷の地に親鸞聖人の御遺骨と共に御真影（御木像）を御安置されたのが本願寺の始まりとなります。

七百五十年の間、先達の門信徒は御真影にお会いすることが親鸞聖人にお会いすることと感じ、本山に集い、そのみ教えを慶ばれてきました。

東本願寺では、明年の親鸞聖人七百五十回御遠忌の奉讃事業として、御真影をお迎えする運びとなりました。



御真影御奉安奉讃を願う

「恩顔は寂滅の煙に化したまふといへども、真影を眼前に留めたまふ……」とは、宗祖聖人の御入滅後に、本山に参詣した諸国門末の御遺弟方が、聖人の御真影に礼拝念仏申し、御遺訓の実語を頂戴して心底より真実信心を喜ばれた御一流の故実と承っております。

御真影奉安は、本山東本願寺として、聖人御遠忌御待受の最も肝要なる御仏事であります。血脈相承の法統護持に相応すべく、過般五月二十五日に、聖人御由縁深き、京都東山の青蓮院門跡御宸殿に於いて、「御真影鑿入式」の御法義を執り行い、「興法の因うちに萌し、利生の縁外に催し」て、九歳の春に御得度したまいし、往昔の御仏縁を今現在に拝戴いたしました。東関二十年の御行化の恩徳を偲んで、当時の御尊容を平安仏所の江里康慧大仏師の匠手により入魂謹彫して頂きます。

全国全世界の門流の道俗には、この無上の御真影を讃仰して御遠忌法要に値遇する喜びを俱にいたし、各々懇念の一端を運ばれます様、茲に至情を開陳し、奉讃同心を願うこと切なる次第であります。

平成二十二年六月一日

本山東本願寺 法主

大谷光見

本山東本願寺

大裏方 大谷 貴代子
裏方 大谷 ひでか
連枝 大谷 紹爾

責任役員・総代

参議会議員

執務長・総務・参与

一同

浄土真宗東本願寺派

理事 一同
評議員 一同

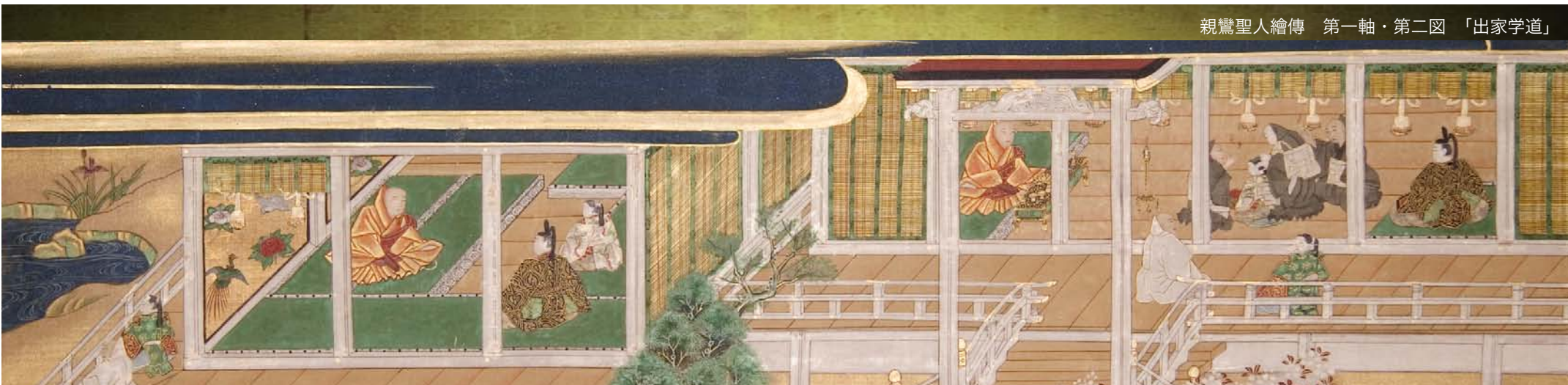
浄土真宗東本願寺派婦人会

役員・理事 一同

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

実行本部 一同





お申込方法

御真影の御奉讃は一口五千円を目安とさせていただきますました。しかしながら、またとない御勝縁でございますので、一千円、二千人でも喜んでお受けいたします。是非お一人でも多くの方々とともに、親鸞聖人御真影をお迎えさせていただきたいと願っております。ご希望の方は、『御真影奉賛希望』と明記され、氏名（フリガナ）・手継寺・住所・電話番号をご記入の上、下記のメールアドレスにお送り下さい。申込用紙を郵送致します。

※ 複数ご希望の方は部数をご記入下さい

御遠忌法要実行本部 勧進局 E-mail:

kanjinkyoku@honganji.or.jp

申込用紙をご記入の上、東本願寺にFAXまたはご郵送頂き、申込書裏面にある振込用紙にてお振り込み下さい。
(本山窓口でも受け付けます)

※御奉讃の〆切は平成二十三年三月末日

お問い合わせ

御遠忌法要実行本部 勧進局 E-mail:

kanjinkyoku@honganji.or.jp

※ 『御真影奉賛問い合わせ』
と明記してお送りください。